

むさしの製菓株式会社

埼玉県加須市/製造業

従業員数
60名

まるっとプラン
15,840円

事業概要

「お菓子」の分野で、人々の健康で豊かな暮らしを支えるとともに、地球環境にも配慮し、環境保全活動を推進しています。本事業では、空調設備、照明設備、コンプレッサ、冷凍冷蔵設備において省エネ診断を受診し、運用改善4件、投資改善4件の提案を受けました。



省エネ効果



エネルギー削減量
(原油換算値)

25.2 kl/年



費用削減額

257.3 万円/年

※ 端数処理を切り捨てて行っているため、合計値と内訳の合計が不一致となる場合があります。

登録診断機関からのコメント

2022年度4月～3月のエネルギー使用量は原油換算値で388.0kl、光熱費は43,449,650円でした。

エネルギー使用割合は、電力が69.4%、都市ガスが30.6%です。その中で一番多くエネルギーを使用している設備は、冷凍冷蔵設備です。エネルギーを多く使っている設備から積極的に、省エネを進めることを推奨します。

今回の診断では、8つの省エネをご提案致します。すべての対策を実施した場合、全体で6.5%の削減余地があり、年間257.3万円の削減が見込めます。

事業者様の声

省エネ診断を受け、日々の業務の中でエネルギーの無駄遣いを再認識し、具体的な改善点が明確になりました。今後も継続的に省エネ活動に励んでいきたいと思っております。

空調設備

運用改善

投資改善

最新の高効率空調機に更新することで、エネルギー使用量の削減ができます。目安として、設置から13年以上経過しているものは、更新対象として計算しています。機器が都市ガスGHPの為、投資額が高くなっています。

【その他以下の提案を含む】

設定温度の適正化



5.8 kl/年



65.9 万円/年



照明設備

運用改善

投資改善

2F仕上げ室の照度を測定したところ、1,425lxの照度がありました。JIS規格の照度基準では、2F仕上げ室の様な作業の場合500～750lx程度が妥当と記載されています。必要以上に明るい為、まずは1/3程度間引きをご検討ください。

【その他以下の提案を含む】

高効率照明への更新



4.3 kl/年



45.9 万円/年



コンプレッサ

運用改善

投資改善

対象器を計測器にて簡易計測しました。その結果、多少ですが運転開始時間・運転停止時間に誤差がありました。また昼の時間も稼働していました。この時間で停止できる余地があれば更なる削減が見込めます。ここでは、運転・停止時間を統一し、昼時間も止められると仮定して削減量を記載しています。



1.7 kl/年



16.9 万円/年



冷凍冷蔵設備

運用改善

投資改善

設置から10年以上経過している機器があります。高効率機器への更新を行うことで、消費電力の削減が可能です。

【その他以下の提案を含む】

庫内温度の適正化、EMSによる冷凍機制御



13.3 kl/年



128.6 万円/年

